















マテリアリティから見た「CSRロードマップ 2022」

マテリアリティ	「CSRロードマップ 2022」の主な取り組み	「CSRロードマップ 2022」で設定したKPI	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度活動状況			関連するSDGs
			目標値			実績値	評価 ^{*1}	関連する取り組み	
1 事業を通じた環境問題解決への貢献	グリーンイノベーション製品の売上収益拡大を目指します。	グリーンイノベーション製品売上収益 (IFRS)	10,000億円 (2022年度)			9,934億円	△	グリーンイノベーション事業拡大プロジェクト	        
	バリューチェーンへのCO ₂ 削減貢献量 ^{*3} を拡大します。	バリューチェーンへのCO ₂ 削減貢献量	2013年度比5.3倍 (2022年度)			9.5倍	○	グリーンイノベーション事業拡大プロジェクト	
	水処理貢献量 ^{*4} を拡大します。	水処理貢献量	2013年度比2.4倍 (2022年度)			2.5倍	○	グリーンイノベーション事業拡大プロジェクト	
	低炭素・循環型社会の実現を目指し、様々な製品の研究・技術開発を推進していきます。	*2						GR製品分野の取り組み	
	プラスチック製品のバイオマス活用・リサイクル活動推進、再生可能エネルギー・水素の普及、水資源の再利用等に貢献していきます。							資源循環型社会の実現に向けた取り組み	
2 事業を通じた健康・長寿社会実現への貢献	ライフイノベーション製品の売上収益拡大を目指します。	ライフイノベーション製品売上収益 (IFRS)	3,000億円 (2022年度)			3,696億円	○	ライフイノベーション事業拡大プロジェクト	    
	防護服やPPE ^{*5} 用部材・製品の供給とその高度化、空気や水などの衛生環境を守るための素材供給を通じて、感染症を含む公衆衛生上のリスク対策に貢献します。							ライフイノベーション事業拡大プロジェクト	
3 資源・エネルギー問題への対応	GHG ^{*6} 排出量売上収益原単位を削減します。	GHG排出量売上収益原単位削減 (率)	2013年度比20% (2022年度)			34.6% ^{*7, 8}	○	省エネおよび温室効果ガス排出削減	         
	用水使用量売上収益原単位を削減します。	用水使用量売上収益原単位削減 (率)	2013年度比25% (2022年度)			31.9% ^{*8}	○	水資源管理の取り組み	
	高い廃棄物リサイクル率を目指します。	廃棄物リサイクル (率)	86%以上	86%以上	86%以上	86.8%	○	廃棄物削減への取り組み	
	計画的に再生可能エネルギーの導入を推進します。							省エネおよび温室効果ガス排出削減	

マテリアリティから見た「CSRロードマップ 2022」

マテリアリティ	「CSRロードマップ 2022」の主な取り組み	「CSRロードマップ 2022」で設定したKPI	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度活動状況			関連するSDGs
			目標値			実績値	評価 ¹⁾	関連する取り組み	
4 温室効果ガスの排出量削減	GHG排出量売上収益原単位を削減します。	GHG排出量売上収益原単位削減（率）	2013年度比20%（2022年度）			34.6%	○	省エネおよび温室効果ガス排出削減	         
	高い廃棄物リサイクル率を目指します。	廃棄物リサイクル（率）	86%以上	86%以上	86%以上	86.8%	○	廃棄物削減への取り組み	
	計画的に再生可能エネルギーの導入を推進します。							省エネおよび温室効果ガス排出削減	
5 環境負荷物質への対応	GHG排出量売上収益原単位を削減します。	GHG排出量売上収益原単位削減（率）	2013年度比20%（2022年度）			34.6%	○	省エネおよび温室効果ガス排出削減	         
	VOC ⁹⁾ 大気排出量を削減します。	VOC大気排出量削減（率）	2000年度比70%以上	2000年度比70%以上	2000年度比70%以上	70.9%	○	化学物質大気排出量の自主削減	
	高い廃棄物リサイクル率を目指します。	廃棄物リサイクル（率）	86%以上	86%以上	86%以上	86.8%	○	廃棄物削減への取り組み	
	計画的に再生可能エネルギーの導入を推進します。							省エネおよび温室効果ガス排出削減	
	PRTR法 ¹⁰⁾ 対象物質の大気排出量低減を推進します。							化学物質大気排出量の自主削減	
6 法令遵守・コンプライアンス	重大な法令・通達違反件数ゼロを目指します。	重大な法令・通達違反（件数）	0件	0件	0件	0件	○	倫理とコンプライアンス	
	自由・公正・透明な市場競争に基づく適正な取引を行います。							一人ひとりが倫理・コンプライアンスを尊重する企業風土の醸成	
	反社会勢力とは一切関係を遮断し、毅然とした対応を徹底します。							一人ひとりが倫理・コンプライアンスを尊重する企業風土の醸成	
	法務内部監査を実施し、監査指摘事項を改善します。	法務内部監査の実施、前年度監査指摘事項の改善率（社数・%）	監査：東レ（株）、国内関係会社、海外関係会社において実施 改善：各監査翌年度に100%			100%	○	一人ひとりが倫理・コンプライアンスを尊重する企業風土の醸成	
	内部通報制度を適切に運用していきます。							一人ひとりが倫理・コンプライアンスを尊重する企業風土の醸成	
	「倫理・コンプライアンス行動規範」を周知徹底していきます。							一人ひとりが倫理・コンプライアンスを尊重する企業風土の醸成	
	重要法令、その他コンプライアンスに関する情報発信・教育を行います。	重要法令、その他コンプライアンスに関する情報発信・教育の実施状況（社数・%）	100%	100%	100%	100%	○	一人ひとりが倫理・コンプライアンスを尊重する企業風土の醸成	


マテリアリティから見た「CSRロードマップ 2022」

マテリアリティ	「CSRロードマップ 2022」の主な取り組み	「CSRロードマップ 2022」で設定したKPI	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度活動状況			関連するSDGs
			目標値			実績値	評価 ^{*1}	関連する取り組み	
7 安全・防災の推進	重大災害件数ゼロを目指します。	重大災害（件数）	0件	0件	0件	0件	○	労働安全・防災活動	 
	世界最高水準の安全管理レベルを達成します。	世界最高水準の安全管理レベル達成（目安：休業度数率0.05以下）	0.05以下	0.05以下	0.05以下	0.37	×	労働安全・防災活動	
	従業員の安全と健康を確保し、安全衛生水準の向上を図るため、快適な職場環境の整備に取り組みます。							労働安全・防災活動	
	火災・爆発事故件数ゼロを目指します。	火災・爆発事故（件数）	0件	0件	0件	2件	×	労働安全・防災活動	
	環境事故件数ゼロを目指します。	環境事故（件数）	0件	0件	0件	7件	×	環境リスクマネジメント	
	GHG排出量売上収益原単位を削減します。	GHG排出量売上収益原単位削減（率）	2013年度比20%（2022年度）			34.6%	○	省エネおよび温室効果ガス排出削減	
	用水使用量売上収益原単位を削減します。	用水使用量売上収益原単位削減（率）	2013年度比25%（2022年度）			31.9%	○	水資源管理の取り組み	
	VOC大気排出量を削減します。	VOC大気排出量削減（率）	2000年度比70%以上	2000年度比70%以上	2000年度比70%以上	70.9%	○	化学物質大気排出量の自主削減	
	高い廃棄物リサイクル率を目指します。	廃棄物リサイクル（率）	86%以上	86%以上	86%以上	86.8%	○	廃棄物削減への取り組み	
	計画的に再生可能エネルギーの導入を推進します。							省エネおよび温室効果ガス排出削減	
	PRTR法対象物質の大気排出量低減を推進します。							化学物質大気排出量の自主削減	
	各国・地域の規制や周辺環境との調和に配慮し、各拠点の緑化を推進します。							生物多様性への取り組み	
8 製品の品質と安全の確保	製品事故件数ゼロを目指します。	製品事故（件数）	0件	0件	0件	1件	×	品質保証・製品安全への取り組み	
	東レグループ全体の品質保証体制の改善の推進と継続的な維持・向上のための実効性監査の仕組みを構築します。							製品の品質と安全	
	東レグループ全体で、不正防止機能を付与した品質管理システムの導入を推進します。							品質保証・製品安全への取り組み	
	各事業において、QA ^{*11} ・QC ^{*12} 機能全体をカバーする品質保証システムの整備・構築を推進します。							製品の品質と安全	
	品質保証・製品安全教育を実施します。	品質保証・製品安全教育の実施状況（社数・%）	100%	100%	100%	100%	○	品質保証・製品安全への取り組み	

マテリアリティから見た「CSRロードマップ 2022」

マテリアリティ	「CSRロードマップ 2022」の主な取り組み	「CSRロードマップ 2022」で設定したKPI	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度活動状況			関連するSDGs
			目標値			実績値	評価 ^{*1}	関連する取り組み	

注釈： *1：評価： ○ 目標達成 △ 目標に対し50%以上達成 × 目標に対し50%未満の達成 — 当年度は評価しない

*2： ：「CSRロードマップ 2022」の主な取り組みの内、KPIを設定していないもの。

*3：製品のバリューチェーンを通じたライフサイクル全体でCO₂排出量削減効果を、日本化学工業協会およびICCA（国際化学工業協会協議会）のガイドラインに従い、東レが独自に算出。

*4：水処理膜により新たに創出される年間水処理量。各種水処理膜（RO/UF/MBR）毎の1日当たりの造水可能量に売上本数を乗じて算出。

*5：personal protective equipment（個人用防護具）

*6：greenhouse gas（温室効果ガス）

*7：2022年度までは国内・海外関係会社のGHG排出量および売上収益に当社の出資比率を乗じて算定していましたが、2023年度からは、国際的な算定ルールであるGHGプロトコルに則った、経営支配力を乗じた算定方法に変更します。同算定方法では32.7%削減です。

*8：基準年度である2013年度の値は、2014年度以降に東レグループに加わった会社分を含めて算出。

*9：volatile organic compounds(揮発性有機化合物)

*10：化学物質管理促進法

*11：quality assurance（品質保証）

*12：quality control（品質管理）

*13：トラック等で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へ転換すること。

*14：トラック運転者不足に対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に寄与することを目的とした運動。